

市政クラブを代表し、議案第102号令和2年度盛岡市一般会計補正予算（第6号）から議案第120号議決の変更についてまでと、認定第1号令和元年度盛岡市一般会計歳入歳出決算についてから認定第15号令和元年度盛岡市病院事業会計決算についてまでの全議案及び決算認定に関し、賛成の立場で意見を述べます。

最初に一般会計補正予算歳入での主なものとして、国庫支出金においては社会資本整備総合交付金など合わせて1億8千739万3千円の減額、県支出金では、地域経営推進事業費の減額など243万3千円の減額、財産収入については道明地区及び大田地区土地区画整理事業保留地売却収入5千36万8千円、繰入金については、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止等に伴う一般財源の減額に伴う財政調整基金繰入金の減額など、合わせて3億1千995万6千円の減額、令和元年度からの繰越金として4億417万円、市債について1千550万円の増額となっています。

次に歳出については、第2款総務費でマイナポイント利用のための設定支援窓口設置に要する経費、決算剰余金は財政調整基金に配分され、マイナンバーに関連する住民基本台帳、戸籍についてのシステム改修、友好都市花蓮市との提携1周年オンライン交流イベント経費などを計上しています。

第6款農林費では、花蓮市へのりんごの贈呈経費、都南つどいの森に幼児用木製遊具も製作・設置の経費を計上しています。

第8款土木費においては、市道融雪装置の改修経費や保留地処分金を活用した事業、盛岡バスセンター整備事業として用地の買戻し経費などが計上されています。

第10款教育費については、コンピュータソフトウェアライセンス調達関係費や教師用端末等のリース経費、市立高校の防球ネット増設経費などが補正計上となっています。

補正に関する意見として、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止等に係る予算について減額補正をし、財政調整基金へ繰入し財源措置をされたことを評価いたします。

毎年、この時期の社会資本整備総合交付金の内示における各種事業の整理や組み換えは、理解しつつも当初予算での各事業の配分、事業整備予定期間と大幅に乖離しないよう、一層の事業精査と財源確保に努めていただきたいと思います。

以上の意見を述べ、今、補正に関しては市政執行上必要な措置と理解をいたします。

次に議案第103号令和2年度盛岡市病院事業会計補正予算（第3号）については、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業や生体情報モニタほか医療機器の購入のための増額補正であり、コロナ禍のなかで必要な措置と考えます。

議案第104号から議案第106号までの条例の一部改正、議案第107号、また、

議案第108号から議案第112号まで財産の取得についてまでと、議案第113号から議案第117号令和元年度盛岡市下水道事業未処分利益剰余金の処分についてまでの各議案については、市政執行上必要な措置と認めます

次に認定については、令和元年度盛岡市一般会計及び各特別会計の決算ですが、一般会計においては、形式収支、実質収支とも黒字となっておりますが、単年度収支・実質単年度収支については赤字となっております。

また、収入未済額は、前年度に比較して減少しておりますが、不納欠損額は前年度に比較し増加をしています。

特別会計については、全体で形式収支、実質収支、単年度収支とも黒字となっております。

収入未済額及び不納欠損額は、前年度に比較し、減少しているものの、収入未済額、不納欠損額の大部分が、前年度と同様に国民健康保険費特別会計が占めている状況にあります。

一般会計及び特別会計においても、財政状況の安定性は確保されつつも経常収支比率が96.3%と前年度から1.2ポイント上がっており、硬直化の傾向が現れています。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税等の収入が減少すると思われ、各種補助金の積極的活用、収納率向上施策、未利用財産の活用含め、財源確保に全力を傾注していただきたいと思えます。

次に令和元年度水道事業会計決算においては、営業収支及び総収支とも純利益を計上しており、安定した財政状況が維持されています。

今後の経営においては、給水人口の減少などによる給水収益の減少、特にも今年度については新型コロナウイルス感染症の影響により給水収益の減少が懸念されます。

引き続き経営と水供給の安定を図っていただきたいと思えます。

次に、令和元年度下水道事業会計決算においては、5年連続、総収支で純利益を計上しておりますが、特に近年の豪雨や積雪によっての不明水の増加は流域下水道管理費への支払いに直接結びつき、経営に影響を及ぼすことから、今後も不明水対策に力点を置き、一層の経営の安定化を図っていただきたいと思えます。

次に令和元年度盛岡市病院事業会計決算については、残念ながら総収支で純損失を計上しております。

入院収益が減少し、給与費や経費等が増加したことも一因ですが、公立病院としての使命、そして新型コロナウイルス感染症への対応出来得る感染病棟を保持されている医療提供体制、地域医療の充実施策を着実に推進しており評価いたしますし、収支均衡を図れるよう努力していただきたいと思えます。

最後に市政全般に意見を述べます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、市立中学校等の修学旅行の中止・延期によるキャンセル料については、地方創生臨時交付金を適用できる対象となっており、早急に実態把握をし、保護者負担の軽減に努めるよう強く求めます。

秋台風への対応などにおいて、新型コロナウイルス感染症予防の見地から、避難所運営及び避難所の増設などをあらかじめ検討され、すべての方が速やかな情報を得て、避難が円滑にできるような取り組みを要請いたします。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響による、市民生活、地域経済の状況把握に常時努めていただき、的確な対処施策を展開するよう求めます。

また、来年に向けて景気の更なる冷え込みが予想され、プレミアム商品券などの個人消費を喚起する取り組みや各種データの蓄積、経営相談などを強化し、活発な経済活動がなされるよう努力していただきたいと思います。

以上の他、我が会派の議員が今議会で述べた質問趣旨、意見を尊重し、市政執行に反映されるよう要望し、討論とします。